

データの有効活用とノウハウ継承をしませんか？

「配合設計支援システムMDSS」のご紹介

日本システム開発株式会社
DX推進本部 営業部 古川 研二

あなたの大切な時間、過去のモノを探すのではなく
新しいモノを生み出すために使いませんか

「配合設計支援システムMDSS (Mixture Design Support System)」は、
ゴムをはじめとした**配合設計における課題（配合データの有効活用・技術継承等）解決を目的**とし、研究開発または製品に関するデータを一元管理できるコンピュータシステムです。
本講演では、配合現場の課題や**表計算ソフトでの配合管理には限界がある3つの理由**などに触れたのち、「MDSS」**簡易デモンストレーション**もご覧いただけます。最後には保守サービスや無料お試し版などの情報もお知らせします。



<MDSSの特長>

(1) 配合設計データの一元管理と検索

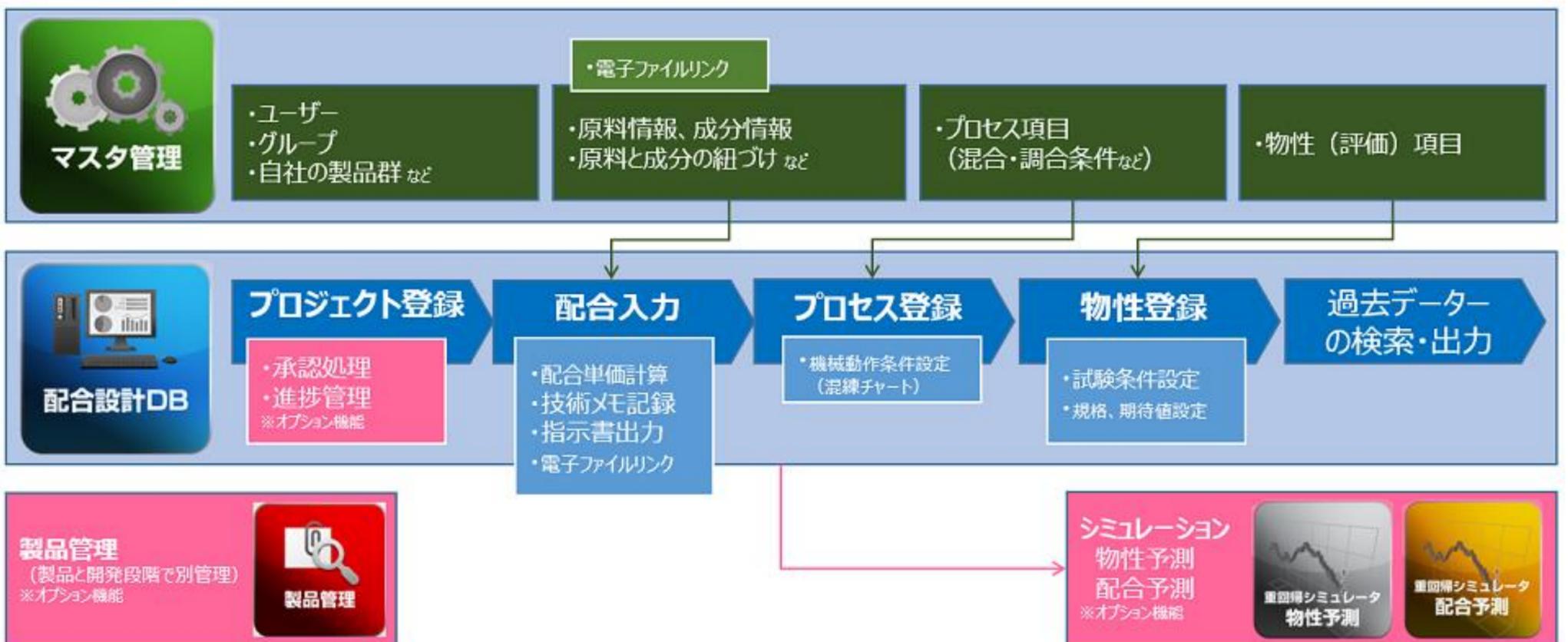
情報が個人持ちになると不在時に待機時間が発生してしまい作業効率の低下が懸念されます。知らずに複数名で類似実験をしてしまう事態にもつながりかねません。分散している配合データを一元管理することで、**必要なときにほしい情報をいつでも取り出せます**。紙資料を綴じた分厚いファイルやサーバ内の膨大な数の表計算ファイルから情報を探し出す苦勞から解放されます。

(2) 後継者の育成および開発コストの削減

ベテラン技術者が持つ豊富な経験を、後継者や将来世代に対し技術継承ができます。また、重回帰モデルシミュレータを使えば仮想空間上での物性、配合予測も行えます。経験の少ない若手が配合の勘所を学習するツールとしても活用可能。**試作回数を減らすことで作業時間の短縮とコスト削減にも貢献**します。

(3) 必要最低限の機能に特化

配合設計の現場担当者が管理したい情報や領域だけに特化しています。不要な機能をそぎ落とすことでシステムのコンパクト化を実現。貴社の要望にあわせた**個別カスタマイズにも柔軟に対応**します。



製品デモ(WEB会議可)、評価版利用のご相談はこちら

